

旅の途中にうれしい足湯スポット

鳴子温泉駅前 ぼっぼの足湯

大崎市

鳴子温泉駅入口に設置された足湯。列車を降りてすぐにも、列車を待つ間にのんびりと…どなたでも気軽に利用できます。寒空の下、温泉街を散策して歩き疲れた足を優しくほぐしてくれる癒やしのスポットです。



▲旅行者同士で会話が弾む交流スペース

住所／大崎市鳴子温泉字湯元2-2
アクセス／R陸羽東線鳴子温泉駅下車すぐ
問い合わせ／TEL.0229-83-3441 (鳴子観光・旅館案内センター)

岩出山の魅力をグルメとショッピングで満喫

あ・ら・伊達な道の駅

大崎市

国道47号沿いにある人気の道の駅。地元でとれた野菜や加工品、姉妹都市である宇和島市・当別町の物産などを販売しています。また、地場産野菜がたっぷり味わえる併設のレストランや、焼ききたパンの販売コーナーも好評です。



▲ファストフードも人気

■営業時間／8:45～18:00 (レストラン10:00～17:00 バイクینگ提供は16:30まで) ■休業日／無休
■住所／大崎市岩出山地月字下宮道下4-1 ■アクセス／JR陸羽東線地月駅から徒歩約3分
■問い合わせ／TEL.0229-73-2236

全国の伝統こけしが集まるミュージアム

みやぎ蔵王こけし館

蔵王町

蔵王山麓にあるこけしの工芸館。全国から集めた伝統こけしと木地玩具5,500点を系統別に展示しています。職人による実演コーナーや、オリジナルのこけしを作ることができるこけし絵付け体験コーナーもあります。



▲表情豊かなこけしの数々が見学可能

■営業時間／9:00～17:00 (最終入館 16:30まで) ※12/29～1/3は最終入館 15:00まで
■休業日／無休 ■住所／蔵王町遠刈田温泉字新地西裏山36-135
■アクセス／JR東北新幹線白石蔵王駅から車で約35分 ■問い合わせ TEL.0224-34-2385

冬色イベントカレンダー

大崎市
1/5(土)
法華三郎初打ち式



名刀「大和伝」を伝承する刀匠法華三郎日本刀鍛錬所の初打ち式。厳かな雰囲気の中、刀匠の名技を間近で見学することができる貴重な機会です。

- 時間／10:00～
- 会場／法華三郎日本刀鍛錬所
- 法華三郎日本刀鍛錬所 TEL.0229-55-2106

気仙沼市
1/12(土)・13(日)
御崎神社祭典



船乗りから「おさきさん」の呼び名で親しまれている御崎神社の祭典。宵祭りでは「虎舞や七福神舞」などが奉納され、境内はたくさんのお店でにぎわいます。

- 時間／12日宵祭り16:00～21:00、13日本祭り9:00～12:00
- 会場／御崎神社
- 宮崎町観光協会 TEL.0226-32-3029 御崎神社 TEL.0226-32-3406

塩竈市
1/14(月・祝日) たいまつ
鹽竈神社松明祭



古い神札やお守り、松飾りなどを納めてお焚(た)き上げる「どんと祭」。裸参りも行われ、一年の無病息災・商売繁盛・家内安全などを祈願します。

- 時間／祭典昼行17:00
- 会場／鹽竈神社
- 志波彦神社・鹽竈神社社務所 TEL.022-367-1611

蔵王町
1/19(土)
えぼし雪上火火大会



冬のスキー場を舞台に、約1,000発もの花火が夜空で花開く恒例イベント。インストラクターによる「たいまつ滑走」も見応え抜群です。

- 時間／19:00～20:00
- 会場／みやぎ蔵王えぼしリゾート
- みやぎ蔵王えぼしリゾート TEL.0224-34-4001



▲鳴子温泉郷

湯めぐりチケット▶



この時季は、雄大な自然に抱かれ、冬ならではの心地よい静寂に満ちた山手の温泉郷がおすすめ。日常を忘れ、ゆったりと滞在を楽しむのうってつけです。

多彩な泉質を楽しめる
「東の横綱」の湯巡り

むすび丸新聞
2019年1月号

企画協力：仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会
むすび丸新聞編集室
(河北新報社営業局内 TEL.022-211-1318)



笑顔咲くたび
伊達な旅
仙台・宮城

出している大崎市の「鳴子温泉郷」。旅行雑誌が選ぶ「温泉番付」で東の横綱に格付けされており、全国的に人気の温泉地となっています。源泉の数は400本を超え、鳴子・川渡(かわたぎ)・東鳴子・中山平・鬼首(おこうべ)のエリア内5カ所の温泉地で湯巡りを存分に満喫することができます。日帰り入浴には、各旅館や鳴子観光・旅館案内センター窓口で販売している施設一覧とマップが付いたお得で便利な「湯めぐりチケット」もおすすめです。



▲遠刈田温泉

にエリア内14軒の温泉旅館やホテルが利用できます。温泉は、琥珀(こはく)色で肌当たりやわらか。一度漬ければ、湯冷めしにくいのも特徴です。

県南エリアでは、蔵王連峰の東麓にある蔵王町「遠刈田」とおがった「温泉」へ。開湯は約400年前と伝わっており、かつて刈田山頂の蔵王権現を詣でる人たちが宿場町として利用し、大いににぎわいました。現在は、蔵王の「御釜」を目指す高原ドライブや、スキー場でスノースポーツを楽しむ人たちの立ち寄り場所として人気です。温泉街中央にある「神の湯」と、江戸時代の湯小屋を再現した「壽(ことぶき)の湯」の2軒の公共浴場があり、さら

宮城蔵王を背景に
歴史ある温泉でじっくりと

真冬こそ楽しみみたい温泉郷の旅へ
胸を打つ見事な雪景色とまじり
仙台・宮城のぬくもりを体感。
冬本番、東北が白銀色に染まる季節が到来。この寒さ厳しい気候だからこそ、ぜひ楽しみたいのが温泉です。寒暖差を肌身で感じながら漬かる、いで湯のぬくもりは格別。郷土ならではのグルメや冬まつりも一緒にどうぞ。

■問い合わせ
「鳴子観光・旅館案内センター」
0229・83・3441
「蔵王町観光案内所」
0224・34・2725
世界遺産となった奇祭で
一年の安全を祈願



▲米川の水かぶり

先日、10件の日本の伝統行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたニュースが話題となりましたが、その一つが登米市東和町の火伏せ行事「米川の水かぶり」です。毎年、2月の初牛(うま)の日(2019年は

2日)に行われる奇祭で、地元の人たちが藁(わら)装束としめ縄を身に付け、顔にかまどの煤(すす)を塗り、火伏せの神である秋葉山大権現に参拝。神の化身となった男たちは、地区の屋根に向かって水をかけながら町内を走り抜けます。沿道に集まった地元の人々は、水かぶりの男たちが身につけた藁を抜き、自分の家の屋根に上げて火伏せを祈願します。宮城県内では、冬の寒さを忘れるようなホットなお祭りやイベントが各地で開催されます。キャンペーンパンフレットや特設ホームページの催事情報をチェックして、こちらもぜひ訪ねてみてください。

「東和総合支所」
0220・53・4111

宮城の冬グルメ

せり鍋



▲コク深いダシとの相性も抜群

仙台市・名取市

宮城の在来野菜である「せり」のおいしさを存分に楽しめる話題の鍋料理。せりをたっぷり鍋に入れ、根この部分まで食するのが特徴で、葉と茎のシャキシャキとした歯触り、根っこが持つ独特の風味の両方が堪能できます。

場／店舗により異なる
問／インターネットで「伊達美味 せり鍋」または「名取せり」検索
名取市観光物産協会 TEL.022-382-6526

南三陸キラキラ丼



▲海の宝石箱の異名をもつ、キラキラいくら丼

南三陸町

南三陸の旬を味わえるおなじみの海鮮丼。2月28日まで「いくら丼」を提供しており、町内の各飲食店がそれぞれ趣向を凝らした内容で用意しています。鮮度の良いイクラをたっぷり使用し、口の中ではじけるうま味は何にも例えようがないおいしさです。

場／店舗により異なる
問／南三陸町観光協会 TEL.0226-47-2550